

# (仮称) 土浦市立上大津地区統合小学校整備基本計画 概要版

## ■はじめに

上大津地区では小学校の児童数減少による課題解消のため、令和2年4月に先行して旧上大津西小学校を菅谷小学校に暫定統合しました。また、令和2年11月に策定した「土浦市上大津地区小学校適正配置実施計画」(令和4年度一部改訂)に基づき、今後も適正な教育環境維持が可能な神立小学校を除き、上大津東小学校と菅谷小学校の適正配置に向け、令和10年度の開校を目指し(仮称)土浦市立上大津地区統合小学校(以下、「統合小学校」という。)を整備することといたしました。

## ■統合小学校の規模

令和4年度の実数及び令和5年度から20年度までの、統合小学校において想定される児童数と学級数の推計は、以下に示す通りです(R5.2.1現在)。上大津地区の人口推移の動向を踏まえ、統合小学校の施設規模の検討を行いました。

年度	学校	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R15年度	R20年度
児童数 (人)	上大津東小学校	394	403	405	387	373	373	479	452	443
	菅谷小学校	137	138	134	134	132	132			
	合計	531	541	539	521	505	505			
学級数 (学級)	上大津東小学校	17 (5)	17 (5)	17 (5)	16 (4)	17 (5)	17 (5)	22 (6)	22 (6)	22 (5)
	菅谷小学校	8 (2)	8 (2)	8 (2)	8 (2)	8 (2)	8 (2)			
	合計	25 (7)	25 (7)	25 (7)	24 (6)	25 (7)	25 (7)			

※令和10年度以降は統合小学校の児童数・学級数を示します。

※ ()内は特別支援学級の内数を示します。

## ■計画予定地の条件について

計画予定地周辺に関する状況を以下に整理します。

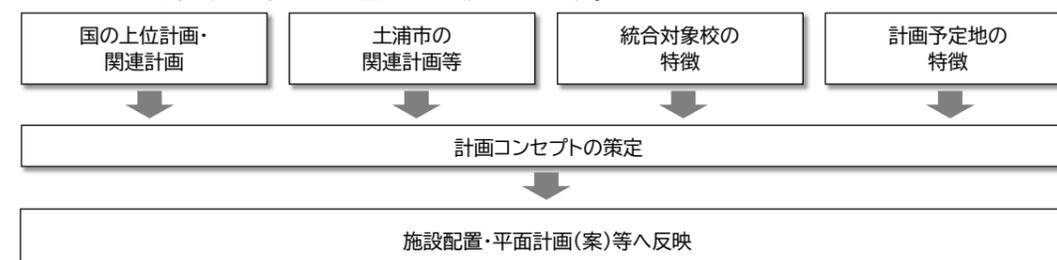
### ・敷地の現状

項目	内容	計画予定地
都市計画区域	市街化調整区域	
建ぺい率	60%	
容積率	200%	
道路斜線	適用距離20m、勾配1.5	
隣地斜線	立上がり20m、勾配1.25	
防火地域	なし	
日影規制	なし	
接道条件	東側 東側 市道沖宿17号線 北側 市道おおつ野六丁目19号線 西側 市道田村116号線 南側 市道Ⅱ級9号線	

## ■施設整備の考え方

### ・計画コンセプトの整理

計画のコンセプトを以下の考え方に基づいて設定します。



### ・計画コンセプト

#### メインコンセプト

### 未来へ歩む地域とともに、子どもたちの成長と新時代の学びを支える学校

#### ① 安心・安全な学校づくり

- ・大人たちの目が行き届きやすく、児童が安心して過ごせる環境
- ・教職員が児童の教育・指導へ集中できる職務空間
- ・地震や洪水、土砂災害等、あらゆる災害に強く、地域の安心を守る拠点
- ・スクールバスを含む、安全な登下校動線

#### ② 新たな学びを積極的に取り入れた学校づくり

- ・主体的・対話的で深い学びを可能とし、感染症対策等も踏まえたスペース確保等、多様な学習形態に柔軟に対応できる空間・施設
- ・将来にわたる技術の進展へ対応しやすく、学びへ効果的にICT技術を活用できる環境
- ・学びの内容、形態に応じて教員自ら弾力的に空間を可変できる普通教室まわり

#### ③ 心の豊かさを養う学校づくり

- ・ユニバーサルデザインの導入やインクルーシブな環境づくりにより、誰もが過ごしやすい学校
- ・上大津地区の豊かな自然環境に配慮した、五感で自然を感じる環境

#### ④ 地域に開かれた明るい学校づくり

- ・児童と教職員、中学生、更には多世代の地域住民など、多様な交流を生み出す場
- ・セキュリティに配慮しながらも開放的で明るい、地域の方々に親しまれる施設

#### ⑤ 環境に配慮した学校づくり

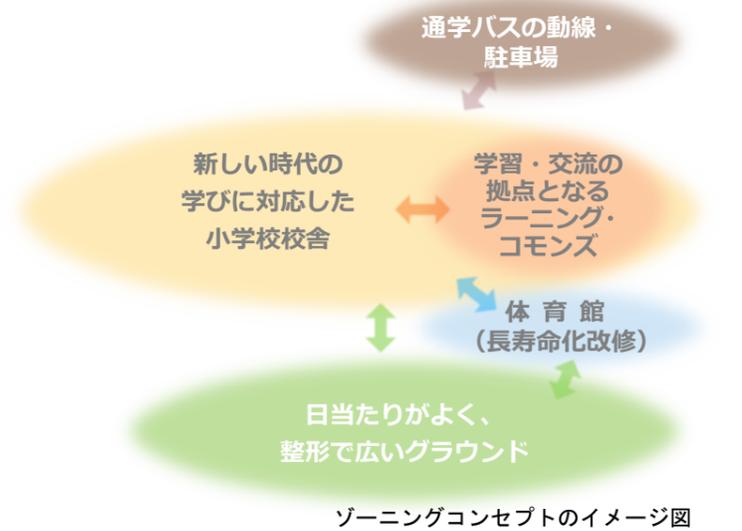
- ・環境配慮技術等の効果を感じられる、環境教育の場となる校舎
- ・自然エネルギーの活用や省エネルギー化を積極的に行う学校
- ・抗菌抗ウイルス建材使用や換気等による感染症対策を考慮した施設

#### ⑥ 持続可能な学校づくり

- ・学びの変化や児童数の増減等にフレキシブルに対応できる、長く使いやすい校舎
- ・メンテナンスのしやすさなど、将来にわたる経済性や長寿命化に配慮した施設

・施設整備にあたっての基本方針

計画コンセプトを踏まえ、施設整備にあたっての基本方針(ゾーニングコンセプト)を策定しました。下図のように統合小学校では、ラーニング・コモンズ<sup>\*1</sup>を中心に児童同士、教職員、地域住民との交流・連携が図れるような配置とします。



※本計画におけるラーニング・コモンズは学校図書室を核とし、多目的教室や地域開放を行う特別教室を一体的にゾーニングすることで、児童・生徒に加え、地域住民の「学び」の中心となるエリアを指します。

■配置計画の方針

配置計画については、既存の上大津東小学校を運営しながら新校舎の建設を行うため、新校舎は既存校舎の北側に配置する方針です。

既存体育館については、長寿命化改良工事を実施し、機能向上を図ることを基本としております。

なお、構造体の劣化状況等を踏まえ、教育効果や利便性、安全性などについて、総合的に考慮したうえで、体育館の長寿命化改良、または建て替えの方針を決定し、全体配置を検討してまいります。以上を踏まえ、配置ゾーニング図を作成しました。

なお、以下は概略の方針であり、基本設計において改めて詳細な検討を行い、配置計画を決定します。



■全体計画概要

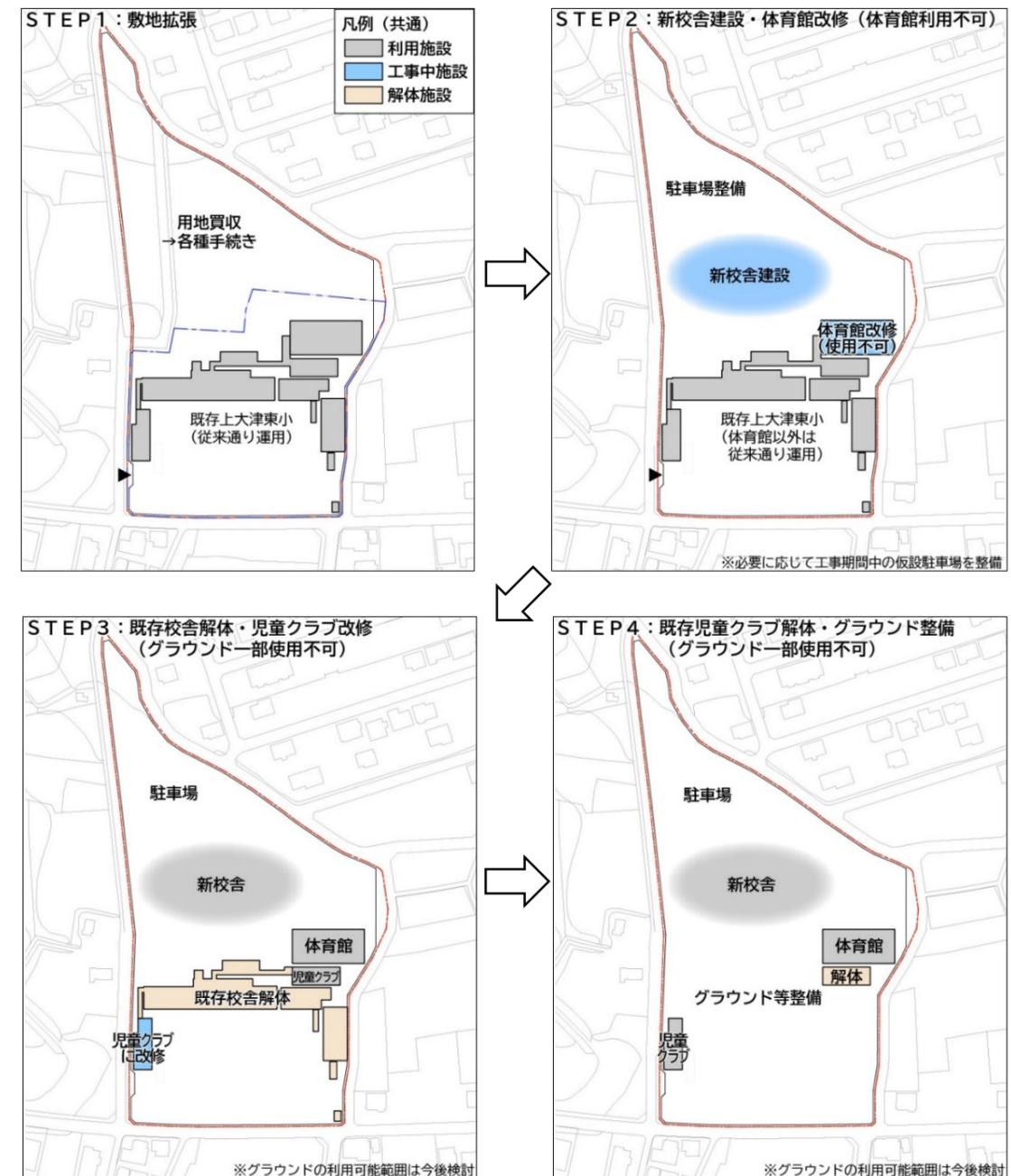
区分	機能	面積	区分	機能	面積
校舎	普通教室	2,376 m <sup>2</sup>	運動施設	屋内運動場	794 m <sup>2</sup>
	特別支援	216 m <sup>2</sup>		屋外附属棟	80 m <sup>2</sup>
	特別教室	1,080 m <sup>2</sup>		運動施設合計	874 m <sup>2</sup>
	管理諸室	720 m <sup>2</sup>	児童クラブ	497 m <sup>2</sup>	
	共用部	約 2,500 m <sup>2</sup>	防災備蓄倉庫	20 m <sup>2</sup>	
校舎合計	約 6,900 m <sup>2</sup>	屋内施設・その他合計	約 8,300 m <sup>2</sup>		
敷地合計			約 24,550 m <sup>2</sup>		

※各室の面積は基本・実施設計時に精査します。

■工事手順の検討

配置計画の方針をもとに工事手順の検討を行いました。工事期間中にわたって既存の上大津東小学校が継続的に運用可能な計画とします。具体的な工事範囲、工事車両動線等は基本設計段階で実施する詳細な配置計画の検討と合わせて決定します。

なお、体育館については、長寿命化改良に伴い、他校の事例と同様に工事期間中は使用できなくなります。



■施設整備スケジュールの整理

内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
設計者選定	●	●				
基本設計・実施設計		●		●		
施工者選定			●	●		
建設工事				●		
既存校舎解体						●
開校						●